

第7回農業再生協議会に関する研究会の開催結果について

1 開催日時

令和6年5月28日（火）午後7時から8時まで

2 場所

オンライン開催（Zoomを使用）

3 開催内容

- (1) 報告「地域計画、市町村は何をすべきか」（東京農業大学教授 堀部篤）
- (2) 意見交換

4 報告内容

- ・堀部先生より、配布資料に基づきながら、地域計画に関する報告が行われた。

5 意見交換等の内容（質問、意見など）の一部

報告への感想「とても共感できるお話をありがとうございます。農業委員会としてのセミナーでは優良事例ばかりの紹介でしたの参考になりました。」

報告への感想「地域計画との向き合い方、とても参考になりました。」

疑問・質問・問題提起「地域計画の担当者ではないが、話合いの場を開いても参加者が集まらないという課題を聞くことがある。」

意見交換

- ・地域再生協議会は、経営所得安定対策が母体である。かつ、市町が地域計画の主体となったため、協議会として地域計画は意識しているものの、地域農業再生協議会が主体で動き出しはできていないという感じかと個人的に感じています。
- ・農業再生協議会の運営面では、地域計画の話題はほぼ皆無である。地主以外の関係者はほぼ揃っているが……。

疑問・質問・問題提起「農業再生協議会の担当者としては、水張り要件や水田畑地化推進など現行政策（とくに水田政策）との不整合が、地域計画の話合いを複雑にしている一因と考えています。」

意見交換

- ・農業再生協担当としては、経営所得安定対策での水張 5 年ルール等への対応が主な業務となってしまって感あります。地域計画の策定の話し合いの中でも、対象水田からはずれる田をどう守るかは課題となると感じます。
- ・5 年水張りで農地から外した場合、飛び地等地目標地図からも外すべきでしょうか。地域計画においては、情報共有はしても再生協は関わりが少ないため、市町村としては今後の動きをどのようにすれば上手くいくのでしょうか。
- ・水田畑地化は地域計画の記載を要件にしても良さそうな政策だと思う。

疑問・質問・問題提起「農業委員会サイドの質問として、地域の農業者が話合った結果が、既存の農振地域計画などの行政計画に優越するというのを知りたい」

以上